

農地機構だより

～人と農地をつなぐ～ 第40号

(公財)しまね農業振興公社

(農地バンク)

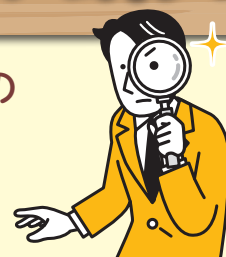
2022年 2月 発刊

松江市黒田町432番地1

0852-20-2871

農業委員・農地利用最適化推進委員研修会の様子をズームイン!!

令和3年12月23日に奥出雲町で、農地中間管理事業についての研修会が開催されましたのでご紹介します!!



研修の目的は…?

現在活動している農業委員及び農地利用最適化推進委員の皆さんは、新型コロナの影響でこれまで研修を受ける機会がありませんでした。そこで、新型コロナ感染者数が下火になったタイミングで、農地中間管理事業を活用した農地の貸借について理解を深めるために行われました。

参集範囲は…?

農業委員 18名
農地利用最適化推進委員 25名
農業委員会事務局他 5名
講師：しまね農業振興公社 平塚係長



研修内容は…?

県内の農地バンク等を活用した農地集積の現状（県全体で集積率 35.3%）をお伝えし、農地の権利移動の方法（農地法・基盤法・中間管理機構法）についてそれぞれの特徴と手続きを確認させていただきました。

特に農地中間管理事業の制度見直しにより創設された貸し借りの手続きを同時に行う「一括方式」について説明を行い、ご理解をいただきました。

また、農地中間管理事業の活用メリットと、これまでに県内で発生したトラブル事例をもとに、貸し借りを進めるうえで配慮する点などを確認し、加えて農地中間管理事業を活用しない相対貸し借りにおいて発生したトラブル案件についても説明させていただきました。

研修後半では、①農地耕作条件改善事業との関わり、②中山間地域における小規模圃場の集積支援、受け手への支援、③農地中間管理事業の制度に対する疑問などについての質問・ご意見を頂戴しました。

最後になりましたが、当研修会の主催であります農業委員会の金倉会長様よりコメントをいただきました。

研修した事例などを参考にして、これから農地に関する問題など、農家にとって役立つ情報を発信していきたいですね。また、農地中間管理事業をうまく活用して集積率アップに結び付けることに目標を持って取り組みたいと思います。



追記

今回、ご多忙の中、ご対応いただきました奥出雲町農業委員会会長、事務局等の担当者の皆様に対し、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。



編集後記

県公社相談員からのコメントです!!



農業委員、農地利用最適化推進委員さんと一緒になって農地の貸し借りを進めさせていただいております。

いろいろと壁にぶつかることはありますが、チームの一員としてご理解をいただく中で、これからも奥出雲町の農地の集約・集積に努めてまいりたいと思います。

(永田)

